

③ インフラの老朽化による事故及びサービスの低下を防ぐための戦略的な維持管理・更新の推進とインフラの有効活用

● インフラを守る

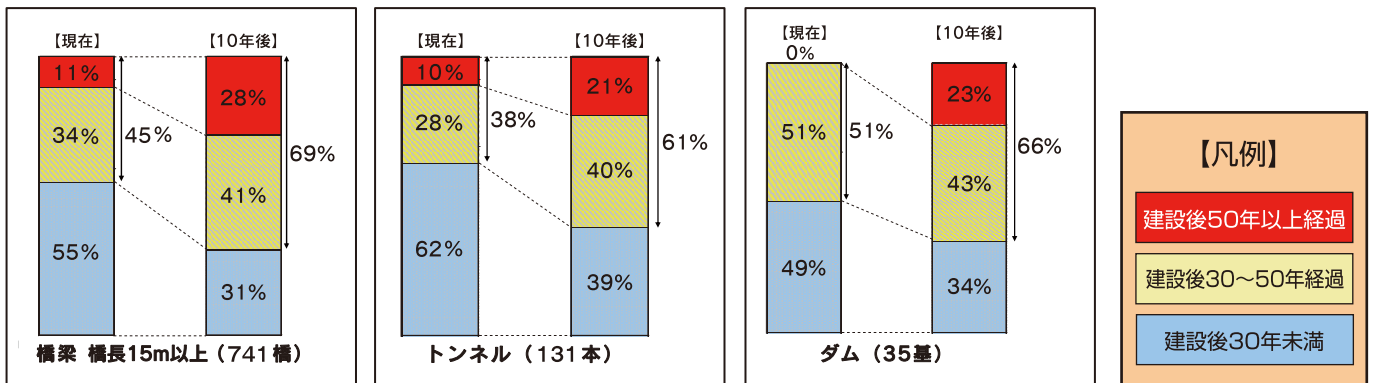
1 維持管理計画

問合せ先 建設企画課

定期点検で的確な保全措置を行う「予防保全的手法」を導入した維持管理計画に基づき、橋梁やトンネルなどのインフラの長寿命化を図り、次の世代に引き継ぎます。

これまでに整備した大量の公共土木施設等のストックが時代とともに老朽化し、維持・更新費の増大が想定されます。限られた財源の中で、いかに本来の機能を維持し、長期に活用していくかが重要な課題となっています。

橋梁・トンネル・ダムに関する「現在」と「10年後」の建設経過年の比較



長崎県では、不具合が生じてからの補修ではなく、「**予防保全的手法**」を導入した効率的かつ計画的な維持補修を行うための維持管理計画を策定し、施設の延命化とライフサイクルコストの縮減を図り、次世代に社会資本を引き継ぎます。



橋梁の定期点検状況

「長崎県の維持管理計画」策定状況

対象施設	施設数量 (H29.4月現在)	計画策定年度
橋梁	2,122橋	H19 (H26改訂)
道路斜面等	2,169箇所	H20 (H26改訂)
舗装	2,450km	H20 (H26改訂)
トンネル	131本 L=53.1km	H22 (H26改訂)
鋼構造物	218施設	H21
コンクリート構造物	2,200箇所	H23
海岸	382km	H25
護岸・堤防・水門	376河川1,145km 水門等97施設	H22
ダム	35基	H24
砂防関連施設	砂防742箇所 (砂防堰堤) 急傾斜908箇所 地すべり126箇所	H23
公園	5公園	H25
公営住宅	510棟	H23 (H28改訂)
空港土木施設	5空港	H26

「予防保全的手法」とは？

定期点検で的確な保全措置を行うことにより、故障等の発生を未然に防止すること。この予防保全の実施により、効率的かつ経済的なインフラの長寿命化が可能となる。

2 トンネルの維持管理

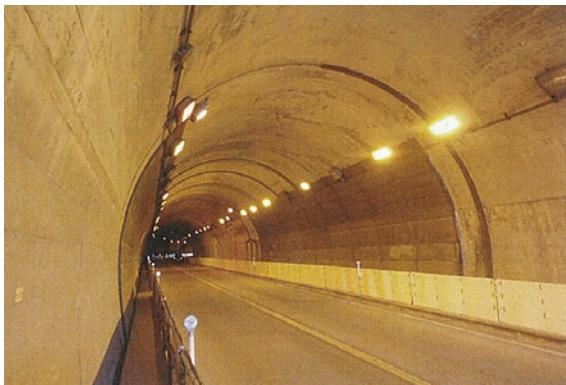
問合せ先 道路維持課

長崎県が管理するトンネル131本について、平成27年3月に改訂した「長崎県トンネル維持管理計画」により、効率的な維持管理・補修工事を行い、トンネルの長寿命化と維持管理コストの平準化・最小化を目指します。



長崎県においては、平成26年度までに比較的大きな損傷については補修を完了しており、現在は規模の小さな段階で効果的な補修を実施しています。
また、法定化された定期点検により、トンネルの状態を的確に把握し、適切な維持管理を行っています。

〈一般国道202号長崎市京泊(京泊トンネル)〉



3 橋梁の維持管理

問合せ先 道路維持課

長崎県が管理する2m以上の橋梁2,122橋について、平成27年3月に改訂した「長崎県橋梁長寿命化修繕計画」により、効率的な維持管理・補修工事を行い、橋梁の長寿命化と維持管理コストの平準化・最小化を目指します。



長崎県においては、早期に補修が必要な21橋について平成29年度までに対策を完了し、平成30年度から損傷規模の小さな段階で効果的な補修を実施していきます。
また、法定化された定期点検により、橋梁の状態を的確に把握し、適切な維持管理を行っています。

〈一般県道寺島馬込港線 西海市 寺島大橋〉



補修前



補修後